



NISAで大人気の インデックスファンドってナニ？

こんにちは。ファイナンシャルプランナーの中澤です。

新NISAの人気銘柄を見ているとダントツで1位がeMAXISシリーズの全世界株式（オルカン）です。

これはインデックスファンドと呼ばれる運用方針の投資信託で、外食産業に例えるとファーストフードのような戦い方をします。

今回の記事はインデックスファンドについてです。まずはそもそも投資信託って何でしょう？

投資信託とは？

投資信託とは金融商品のジャンルの一つで、我々の年金もほとんど投資信託で運用されており、iDeCoやNISAなど国はいつも投資信託推しです。

ではどのような特徴があるのでしょうか？

①少額資金からスタートできる

まず、投資信託はみんなから集めた多額の資金を財源に投資してくれるので少額からでもスタートできます。

②分散投資できる

みんなから集めた多額の資金を使って分散し、数十、数百社に投資してくれるでの紙切れになるリスクはほぼ考えなくてよいと言えます。世界の名だたる企業が一気に数十社も倒産するなんてことは想像できませんよね？

ただこれには多額の資金が必要になりますが投資信託はみんなから集めたお金を使うので、例えば月に1万円投資するだけでも、数十、数百という分散投資を

可能にします。

③運用のプロが管理してくれます

また、それらの分散投資した株や債券をファンドマネージャーと言われる運用のプロが管理し、売り買ってくれます。

数十、数百の分散投資を時代の変化や社会情勢に合わせ個人で行うのは不可能ですよね？

これを信託報酬という手数料と引き換えに行ってくれるが投資信託です。

全世界株式（オルカン）とは？

インデックスファンドとは、この管理や売り買入をコンピュータにプログラム通りにさせることで超低コストを実現した投資信託のことです。

全世界株式（オルカン）の場合は時価総額の高い順に3000社を並べて上から順に時価総額分の口数を按分形式ですべて買付けていくというプログラムです。

世界の平均値に寄り添った運用になりますのでみんな一緒に安心感があります。

大元のデータが同じなのでどの運用会社が作ってもほとんど同じパフォーマンスになります。

ということは手数料を一番引き下げたナンバーワン商品の独り勝ちです。

日本一高い山は富士山ですが2番目の山を誰も知らないのと同じ現象ですね。

この戦いを制したのがeMAXISシリーズで、最も安い信託報酬に設定したことでの一番売れている投資信託の座を手に入れました。

もちろんその他にもナンバーワンをと

るために宣伝広告費をかけて一番認知を取りに行つた投資信託だとも言えます。

外食産業でいうとまさにマクドナルドのような投資信託ですね。

一番認知をとり、大量生産大量消費、同じ味という安心を確保し、従業員はマニュアル通りに動き、一番手数料を引き下げるに成功しています。

ちなみにeMAXISシリーズはとにかく手数料を引き下げるために、担当者がいると扱えない通販専門商品です。

中身は一緒なのでパフォーマンスなどはほぼ同じになりますが、担当者がいるタイプの全世界株式（オルカン）で有名なものに『たわらノーロードシリーズ』があります。

信託報酬の差は0.0555%となり、仮につみたて投資枠の120万円分購入すると667円の差になります。

つまり担当者がいる代わりに667円の手数料を抜かれるか、最後に売却して投資を止めてしまうかお亡くなりになつてパートナーに名義変更するところまでをすべて自分たちで管理するかわりに667円の手数料がかからないかの争点になります。

インデックスファンドの欠点

ではこのインデックスファンドの欠点は何があるのでしょうか？

インデックスファンド自体は決して悪いものではないのですが、ここまで流行ってしまう問題が起きます。

①全ての企業を買うという事は本来そこまで人気がない企業の株も買い支えるた

め市場が歪み、本来の企業の価値よりもかなり割高で買わされることになります。

例えば軍事産業がここ数年で時価総額を何十倍に伸ばしていますが、何十倍高い状態で軍需産業を購入していることになります。

②また戦争をきっかけにエネルギーなどの価格高騰など、世界的な物価上昇時代に入ったこれからは、価格決定力のある企業と、価格を上げることができない企業に2極化されます。

そうなると全てを買付けるインデックスファンドは不利になります。

③そもそもですが、インデックスファンデーは過去の数字にしか着目していません。

自分のお金が軍需産業を通じて、今戦争に使われていることにも気づきません。

自分のお金を世界のどういう企業が使ってどのような人たちの課題を解決し、その結果として成長したことでの資産も増えたというような感覚を得にくいのです。

まとめ

商品を選ぶ力がない人たちにもなるべく安心した投資の機会を与えるという点において、インデックスファンドの功績はとても高いと言えますが、あくまでも一つの指標的の商品であり、資産形成のメインディッシュではないというのが私の考え方です。

- ・投資に関する相談
- ・相続に関する相談
- ・保険の見直し
- ・住宅ローンの借換
- ・結婚、出産等による環境変化の相談
- etc.

お金に関するご相談何でも承ります。
大切なご家族様、ご友人様を紹介ください。

著者／中澤 賢一
保有資格／投資診断士 相続診断士
ファイナンシャルプランナー
MAIL／fp.nakazawa.kenichi@gmail.com
TEL／080-7359-4129